

平成26年10月21日

東北地方整備局

入札監視委員会第二部会第2回定例会議（10月2日） の審議概要について

～抽出案件6件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成26年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第2回定例会議が、
10月2日（木）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）
についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件6件の審議が行われ、委員からの意見の
具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区花京院一丁目1番20号

TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契約管理官

かがや ひろし
加賀谷 浩（内線6221）

経理調達課課長補佐

さとう ひろまさ
佐藤 浩正（内線6554）

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成26年10月2日（木） 東北地方整備局会議室		
委員	部会長 齊藤 幸治（弁護士） 部会長代理 高橋 敏彦（東北工業大学工学部教授） 委員 是川 晴彦（山形大学人文学部教授）		
審議対象期間	平成26年4月1日～平成26年6月30日		
総審議案件	6件	〈備考〉 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止措置の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工 事	一般競争（WTO対象）		2件
	一般競争（WTO対象外）		1件
	工事希望型競争		0件
	工事希望型以外の		
	指名競争入札		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	2件		
役務の提供等及び 物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）第2回定例会議審議概要

審 議 案 件 工 事 概 要 書

	入札・契約方式	工 事 名	工事種別	契約金額 (単位：千円)	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 (WTO対象)	釜石港湾口地区湾口防波堤(災害復旧)(開口部) 築造工事(その2)	港湾土木	1,657,800	4者	4者
2	一般競争 (WTO対象)	仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁(-14m)耐震改 良工事	港湾土木	982,800	2者	2者
3	一般競争 (WTO対象外)	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤(南)上部 外工事	港湾土木	545,400	1者	1者

審 議 案 件 建 設 コ ン サ ル タ ン ト 業 務 等 概 要 書

	入札・契約方式	業 務 名	業務区分	契約金額 (単位：千円)	手続きへの参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札参加者数
4	一般競争	機械設備技術検討業務	建設コンサルタント等	8,856	1者	1者
5	簡易公募型 プロポーザル	仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区長周期波対策基 本設計	建設コンサルタント等	48,600	1者	1者

審 議 案 件 役 務 の 提 供 等 及 び 物 品 の 製 造 等 概 要 書

	入札・契約方式	業 務 名	業務分類	契約金額 (単位：千円)	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	八戸港気象海象観測装置改造	役務の提供等	1,944	1者	1者

	意見・質問	回 答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約が多いが理由は。 ・ 季節的な理由ということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度替わりで庁舎用地・宿舍用地等継続契約が多いことが理由です。 ・ そうです。
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	
1-3	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	
1-4	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	
2-1	審議 「釜石港湾口地区湾口防波堤（災害復旧）（開口部）築造工事（その2）」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象工事の中では契約金額が大きいですが、その理由は何か。 ・ 航路部の工事ということだが、船舶の航行はあるのか。 ・ 開口部の工事が完成すると、水深はどれくらいになるのか。 ・ 今回の開口部の構造は、津波が港内から戻る際の対策なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この工事は湾口地区防波堤の開口部300mを3分割して行う工事の一つであり、規模としては大きい工事です。 災害復旧工事であり、早期に復旧するためには多くの作業船を投入して工程を短縮する必要があります。一方で作業船の輻輳を避ける必要もあり、開口部を3分割して施工することが最も適切であると考え、このような発注規模としたものです。 ・ 被災によりケーソンが倒壊した区間を一時的に仮航路としており、開口部の船舶航行はありません。 ・ 逆Tブロックを設置すると水深は19mになります。 ・ 戻りも行きにも対応しています。 今回構造として工夫しているのが、今まではケーソンを置いていましたが、東日本大震災の津波で転落したため、復旧にあたっては、今回のような津波が襲来しても大きな被災を受けない、いわゆる粘り強い構造を採用しました。

	意見・質問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が4者とも90%程度で入札金額も拮抗しているが。 ・なぜ落札率が低いのか。 ・他の案件では落札率が高いものもある。積算がしやすい工事ということか。 ・やりやすい工事だから、調査基準価格を下げるということはないのか。 ・参加資格の実績について「特定JVの代表者又は単体資格者」と「特定JVの代表者以外の構成員」で差がついている理由は。 ・業者を育てていこうという考え方なのか。 ・最低額入札者ではなく3番目の者が落札しているのは、総合評価方式だからか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は見積参考資料（金抜き設計書）を開示しております。また、直接工事費の約9割は石材の投入や均しとなっています。開口部は初めての工事ですが、石材の投入や均しについては南堤部の築造工事で行っている積算の考え方と同様であること、さらに、新しい工種である逆Tブロックの据付についても、積算基準に基づいて工費を算出していることから、比較的精度の高い積算が可能であったと推測されます。 ・金額が大きいのので受注意欲が高かったと思われます。 ・積算基準に基づいて行っているので、積算はしやすいかと考えます。 ・決められた基準に基づいて行っています。 ・代表者に求めるものと代表者以外に求める実績については、代表者以外は緩和するのが一般的です。 ・代表者以外で参加しても、代表者と同様の実績として認められます。今後同様の工事に代表者もしくは単体として参加することができるようになります。 ・そうです。
2-2	<p>審議 「仙台塩釜港仙台港区向洋地区岸壁（-1.4m）耐震改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札者が2者の理由は。 ・2回目の札入れの前に行った説明とは、どの程度の内容を説明しているのか。 ・1回目と2回目の札入れは、時間をどれくらい空けたのか。 ・業者説明はこちらに来てもらって行うのか。 ・説明時間はどれくらいだったのか。 ・業者からの質問はあったのか。 ・質疑応答を記録したものはないのか。また別途資料を渡しているのか。 ・業者側に誤解があったという事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札説明資料をダウンロードした11者にヒアリングしたところ、技術者の確保ができない、船の確保ができない等が理由としてあげられました。昼夜にまたがる工事のため技術者の確保が難しかったと思われます。 ・今回の入札では鋼管杭の打ち込みに関して考え方が違うのではないかと考え、当局の打込み能力の考え方やウォータージェットの部材について転用と埋設の考え方を説明しました。 ・業者に対し説明をした後、相手方に積算に必要な時間を確認し期間を決めています。今回は2日程空けたと思います。 ・今回は参加業者に別々に来ていただきました。 ・双方ともに30分程度だったと思います。 ・当局の説明について理解したとの発言はあっただけで特に質問はありませんでした。 ・特に作成しておりません。また資料は発注資料を基に説明しており、別途資料は渡しておりません。 ・誤解があったかどうかは分かりませんが、金額が一番高い部分について、積算説明を行い、内容についてご理解いただいたということです。

	意見・質問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者が 2 回目の入札で辞退しているが、理由は。 ・ 1 回目の入札で入札者 2 者の入札金額に 2 億円の差があるが。 ・ 技術資料提出可能な者が 2 3 者ということだが、この数は少ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間工事等さまざまな制約条件があることから、応札者が判断した結果と考えます。 ・ 応札者が様々な制約条件を積算に反映させた結果ではないかと思えます。 ・ 通常の防波堤工事等と比べると少ないですが、10 社以上おりますので、競争性に問題はないと考えます。
2-3	<p>審議 「仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区防波堤（南）上部外工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者応札の理由は。 ・ 落札率が高い理由は。 ・ 2 回目の札入れの前に業者説明は行っているのか。 ・ 今回の工事は上部工が 1 m ほどかさ上げされるが、震災で地盤沈下した部分の復旧工事なのか。 ・ 生コンの価格を算定するときに地域特性を考慮しているのか、それとも全国一律なのか。 ・ 例えば酒田と太平洋側では価格が違うものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札説明資料をダウンロードした 9 者にヒアリングしたところ、配置予定技術者の確保ができないとの事でした。港湾工事としては大きい金額の工事ですが、他機関の発注に比べ少額なことも理由と考えられます。 ・ 本工事は見積参考資料（金抜き設計書）を開示しており、比較的精度の高い積算が可能であったと推測されます。 ・ 行っていません。 ・ 震災で沈下した区間については、既に嵩上げを行い復旧しています。これまで暫定上部で整備を進めてきましたが、今回の工事はそれを完成断面にするものです。 ・ ブロック別に価格が決まっています。今回の単価は石巻地区の価格を使用しています。 ・ 違います。
2-4	<p>審議 「機械設備技術検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者応札の理由は。 ・ 落札率が高い理由は。 ・ 点検の頻度は。 ・ 点検は毎回入札で行っているのか。 ・ この業務の落札者は、そのたびに変わっているのか。 ・ 落札者はずっとこの業者のみなのか。 ・ この法人の構成員はどのような者なのか。 ・ ケーソンの年間製作数は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札説明資料をダウンロードした 2 者にヒアリングしたところ、本業務に対応する実施体制が整わないとの理由で参加しなかったとのことでした。 ・ 本業務は見積参考資料を開示しており、高い精度の積算が行われた結果と思われる。 ・ 年に 1 回行っています。その結果を受け修理等を行っています。 ・ 毎回入札しております。 ・ この 1 者のみです。 ・ 過去 5 年はこの業者となっております。 ・ 荷役機械システムを製作している民間企業の集まりだと思います。 ・ 予算の関係等で年によって違いますが、石巻港ケーソンヤードは最大で 16 函です。

	意見・質問	回 答
2-5	<p>審議 「仙台塩釜港石巻港区雲雀野地区長周期波対策基本設計」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者応札の理由は。 ・ 落札率が高い理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、設計及び実験の双方を行う業務であり、双方の調整が必要な難易度の高い業務です。入札説明資料をダウンロードした7者にヒアリングをしたところ、4者が技術者の確保が出来なかった、3者が同種業務の実績が少なく同分野を得意としていない、との理由で参加しなかったとのことでした。 ・ 今回の契約はプロポーザル方式で行っています。プロポーザル方式は技術提案の内容と、技術者の能力を総合的に評価し、評価値の高い者と随意契約するものです。業務量の目安を当局の概算額として示しています。応札者は上限金額を想定できるので、過去の同種業務及び特定者に依頼される見積価格を参考にしたことから、このような落札率になったと考えます。
2-6	<p>審議 「八戸港気象海象観測装置改造」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 者応札の理由は。 ・ 落札率が100%の理由は。 ・ この業者は機械の納入業者か。 ・ 以前にも同様な価格で落札実績があるのか。 ・ 予定価格を決める際に、参考になるものを業者から聞くことはあるのか。 ・ 見積書は取っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容としては、電気・通信機器類の取扱業者であれば対応可能であると想定していたのですが、結果として1者の申請ということになっております。 ・ 本業務が比較的単純作業であることやこれまでの案件と比較しても金額的に小規模となったことから、予定価格を類推できたのではないかと思います。 ・ 納入業者というより以前よりこの機械を修理をしています。 ・ 平成21年と22年に落札実績がありますが、それぞれ84.9%・99.4%となっています。 ・ あります。 ・ 取っています。 <p style="text-align: right;">以 上</p>